

祝150周年!! えがおあふれる海蔵小学校



海蔵小学校は創立百五十周年を迎えました

明治八年（一八七五年）七月一日。末永、浜一色、野田、東阿倉川、西阿倉川五ヶ村の組合立として設立。末永村正福寺を借用して『海蔵学校』が開校されました。明治十二年、浜一色村字水車に校舎を建設。その後、『海蔵村立海蔵尋常小学校』となり、明治三十二年に現在の東阿倉川に移転しました。昭和五年に海蔵村が四日市市に合併されると、校名を『四日市市海蔵尋常高等小学校』と改めしました。そして、昭和七年講堂、昭和十二年に新校舎が完成しましたが、昭和二十年の四日市空襲により全焼する悲運に見舞われました。

戦後、昭和二十一年仮校舎が、昭和二十三年に校舎が建設され、昭和二十四年に『四日市市立海蔵小学校』として再発足することになりました。その後、昭和三十四年の伊勢湾台風によって、講堂が全壊しましたが、昭和三十六年に体育館が落成し、昭和四十年に南校舎、昭和四十五年には管理棟が落成し、昭和五十年に創立百周年式典を挙行了しました。

それから、昭和五十二年に現在の二十五メートルプールが竣工され、昭和五十五年に特別教室棟（現北校舎）、昭和六十三年には新体育館が建設されました。平成十九年には、児童数増加に伴い、特別教室棟（現北校舎）の校舎を増設しました。平成三十年に、管理棟、南校舎を解体し、仮設校舎を建設し、令和元年十二月新校舎が完成しました。※①～⑤は、写真を参照してください。

百五十周年を迎えた現在の児童数は五百九十二人。開校当時の児童数は約百人。最大児童数の時は、昭和二十三年で千四百六十五人。市内小学校でトップの児童数であった平成二十四年は、八百四十人でした。

いつの時代も、地域のみなさんの夢や希望をのせ、多くの人に支えられ、海蔵小学校のこどもたちは、この学び舎で笑顔あふれる日々を過ごしていたことでしょう。そして、これからも…。



令和7年7月1日、海蔵小学校は創立150周年を迎えました。

表紙の航空写真に使われている「桜の人文字」のデザインや、ページ上部の「キャラクター」「虹のイラスト」は、150周年を機に募集されたものです。桜の人文字は、現在海蔵小学校6年生の伊藤有里さん、キャラクターは現在山手中学校1年生の小川すみ玲さん、虹の背景などイラスト全体のデザインは、現在海蔵小学校6年生の小野美友莉さんの作品が採用されています。

創立150周年記念児童集会が開かれました

令和7年7月1日、海蔵小学校体育館で、海蔵小学校創立150周年記念児童集会が開催されました。

第1部「150周年セレモニー」

校歌斉唱、横断幕・航空写真の拡大パネルの披露、記念品（ファイル・定規）の贈呈、150周年のあゆみの紹介がありました。それから、こにゅうどうくんがお祝いにかけつけてくれ、会場は大いに盛りあがりました。



第2部「みんなで150周年のお誕生日を祝おう」(児童企画)

代表委員会児童の進行で、すべての学年が各学年で考えた発表を行いました。1年生「ハッピーバースディ〜海蔵小学校〜」、2年生「海蔵小150年みんなでおまつり」、3年生「海蔵大すき発見隊〜お茶のまき〜」、4年生「お祝いメロディ」、5年生「青空をつくろう」、6年生「海蔵小学校を深掘りしよう」と題したそれぞれの発表は、海蔵地区や四日市市のことを詳しく調べ、この日のために準備し、練習を重ねたもので、どれも素敵でした。何より子どもたちの一生懸命な姿に感動しました。



海蔵小学校キャラクター「さくらとなしお」

「さくらとなしお」を考案された、山手中学校1年生（当時小学校6年生）の小川すみ玲さんに、キャラクターへの想いを伺いました。

❁応募しようと思ったきっかけは、「キャラクターをデザインすることが好きだから」。普段から絵を描くことが好きで、今回の募集を知って挑戦してみたい、と思ったそうです。アイディアは、2頭身のキャラクターを考えていたときに思いつき、そこからイメージを膨らませて、「さくらとなしお」が誕生しました。

❁「さくら」は花びらのような前髪とツインテールがチャームポイントで、海蔵川の桜をイメージ。「なしお」は上に跳ねた髪型が特徴で、天然記念物のアイナシとイヌナシから名付けたそうです。2人は萬古焼の土鍋のフタをモチーフにした、おそろいのベレー帽をかぶっています。

❁選ばれたときは「とにかく嬉しかった!」とのことで、作品が小学校の記念事業に関わることになり、大きな達成感を得られたことと思います。「さくらとなしお」のこれからの活躍に、今後もぜひご注目ください。

さくら なしお



海蔵小学校の柴田校長から記念品が届けられました

地域とともに歩んだ150年

～柴田校長に海蔵小学校への想いを伺いました～

令和7年9月、海蔵地区まちづくり協議会広報部のメンバーで海蔵小学校を訪れ、柴田校長に学校への想いやこどもたちへの願いを伺いました。

一 教諭として過ごし校長として戻った海蔵小学校への想い

教諭として海蔵小学校で過ごした4年間で非常に充実しており、当時担任をしていた6年生との別れと自分の異動が重なった年は、今でも特別な思い出です。そんな思い出のある場所に戻ってこられたこと、そして地域の温かさに触れられることを、大変嬉しく思っています。



海蔵小学校の花壇

150周年を記念して、今年度の中日新聞主催フラワーブラボーコンクールに応募し、「えびせんべいの里賞」を受賞しました。

一 こどもたちに伝えていきたいこと

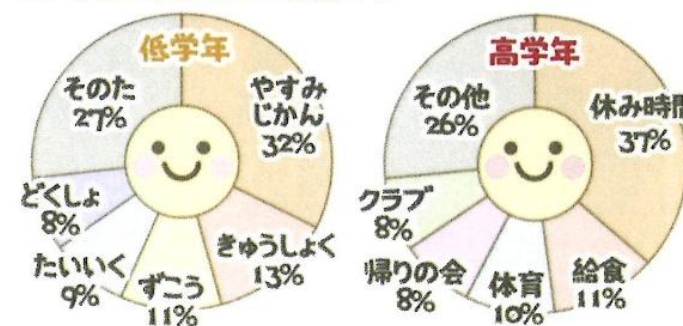
今年度のビジョンとして「誰もが安心できる学校、誰からも信頼される学校」を掲げ、学校は勉強するだけの場所ではないこと、こどもたちが安心して過ごせる環境づくりを目指しています。こどもたちにも、一人ひとりが周りのことを考え、感謝の気持ちを常に持ちながら生活してほしいと、日ごろから伝えています。

一 地域のみなさまへの感謝

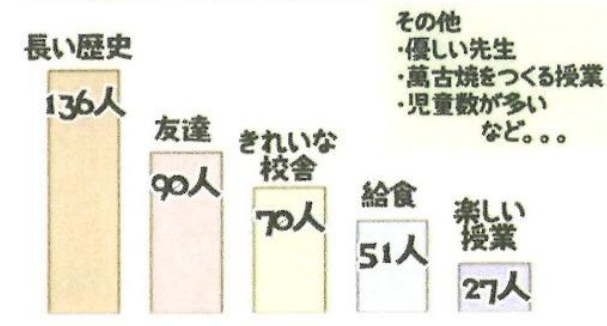
地域の方々の支えも、こどもたちの安心につながっています。雨の日に地域の見守り隊の方が、水たまりの水をすくって溝へ避け、こどもたちが濡れずに歩けるようにしてくださる姿や、通学路でトイレを開放してくれる家庭など、細やかな支援が本当にありがたいです。こどもたちのことを思ってくれる、考えてくれる、そんな地域の方にお世話になり、支えられている学校だと実感しています。地域のみなさまには感謝しかありません。

令和の小学生♪に聞いてみた!～150周年をきっかけに海蔵小学校のみなさんの声を集めました～

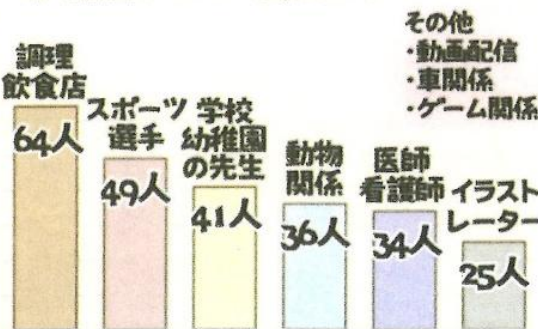
Q. 学校で好きな時間は?



Q. 海蔵小学校の自慢は?



Q. 将来なりたい職業は?



150年後の海蔵小学校に通う子へのメッセージ

🏠 学校は楽しい?
一番楽しい学校だよ! 先生が優しいよ!

💖 地域とともに...
萬古焼があるよ 海蔵川の桜はきれいですか? 海蔵は素敵な地域です

🌱 未来のこどもたちへの願い
勉強を頑張っていって大人になってね 友達を大切に 笑顔で頑張ってね

🕒 歴史をつなぐ
海蔵小学校は長い歴史があるすごい学校だよ! 歴史を受け継いでください

アンケートにご協力いただいた先生・児童のみなさま、本当にありがとうございました!



お知らせ
令和8年海蔵川桜まつり中止
 令和7年の桜まつりは、危険な木があることから中止しました。その後、撤去作業が進められましたが完了していないため、令和8年も中止します。三重県及び四日市市との協議のもと、連携・協力して安全確保に努め、桜まつりの再開を目指します。
 [海蔵川桜まつり実行委員会]

堀川菖蒲園
 [堀川菖蒲園花菖蒲育成会]



4/6 初登校の前に親子で
 通学路を歩いてみよう!!
 [セフィネット協議会]



6/1 海蔵川水難救命ブイ点検
 [青少年育成協議会]



6/14 山手中学校1年生対象
 福祉体験教室
 [社会福祉協議会 福祉部]



6/14 山手中学校2年生対象
 防災講座
 [防災会]



6/22 ニュースポーツ大会
 [社会福祉協議会 健康推進部]



10/4 人権を考える集い
 [人権・同和教育推進協議会]



10/11 天文教室
 [かいぞう文庫]



10/14 グラウンドゴルフ大会
 [連合若生会]



10/18 海蔵地区を歩こう会
 [社会福祉協議会 健康推進部]



10/27 海蔵学童保育所児童と
 福祉部の交流会
 [社会福祉協議会 福祉部]



11/1 街かど花いっぱい運動
 [社会福祉協議会 環境部]



11/16 グラウンドゴルフ大会
 [社会福祉協議会 健康推進部]



11/16 海蔵川・三滝川堤防清掃
 [社会福祉協議会 環境部]



11/16 こどもまつり
 [子ども会育成者連絡協議会]



12/13 料理教室
 [婦人会]



海蔵地区のいろいろな活動と一緒に取り組んでみませんか。みなさんの地域団体への参加をお待ちしています。
 各団体については、海蔵地区地域団体事務局 [地区市民センター内] まで気軽にお問い合わせください。(電話333-8770)



今年の文化祭1日目は、小学校の体育館と運動場（地震体験車のみ）、地区市民センター駐車場を会場として開催し、大勢で賑わいました。2日目は久しぶりの降雨となり、一部のバザーなどを地区市民センター1・2階へ移して開催しました。

「四日市市立幼稚園型認定こども園海蔵幼稚園」に生まれ変わりました

海蔵幼稚園は、令和7年4月より「幼稚園型認定こども園」になりました。以前は、4歳児5歳児の2年保育でしたが、「こども園」になり3歳児保育が始まりました。

「こども園」は、同じクラスの中に「教育認定（1号認定）」と「保育認定（2号認定）」のお子さんがおり、同じカリキュラムの中で過ごしています。年度途中で、「1号認定から2号認定へ」またその逆で「2号認定から1号認定へ」に変更することが可能となっています。

教育認定（1号認定）とは…保育に必要な事由に該当しません。
（教育標準時間4時間程度で通園）
保育認定（2号認定）とは…保育に必要な事由（保護者の就労・妊婦・出産・疾病・障害など）に該当する。
（保育標準時間11時間以内や保育短時間8時間以内で通園）



海蔵幼稚園では『いろいろな人と気持ちを通わせ、夢中になって遊ぶ〈学ぶ〉子の育成』を教育目標とし、遊びに「わくわく」・心も体も「元気」いっぱい・こどもも大人も「笑顔」あふれ、地域に信頼される幼稚園を目指しています。

教育認定（1号認定）		保育認定（2号認定）	
◆登園		◆登園 保護者の就労等により順次登園	
8:30 ◆登園			
9:00 ◆自ら選んでする活動			
先生や友だちと一緒に、ままごと・積み木・絵画制作・砂遊び・おかけっこなどで遊ぶ			
10:30 ◆クラス全体でする活動			
3歳児 クラスみんなで、簡単な集団遊び・楽器遊びなどを楽しむ			
4・5歳児 クラスみんなで、歌・合奏・集団遊び・体操などを楽しむ			
11:30 ◆昼食			
◆自ら選んでする活動（4・5歳児）午睡（3歳児）			
14:00 ◆降園			
14:30 ◆降園		◆おやつ	
		◆順次降園	
		◆好きな遊びをする	
18:00			

四日市市こども未来部保育幼稚園課資料より抜粋

新しい「海蔵地区文化祭」の裏側を紹介します！

これまで「海蔵地区文化祭」の模擬店やバザーは、海蔵幼稚園の園庭を使っていました。今年度から海蔵幼稚園は土曜保育があるため園庭が使えなくなり、市民センターの駐車場に場所が移りました。



そこで、新しい「海蔵地区文化祭」がどのように準備されていくのか気になったので取材してきました。

まず各団体の代表・自治会・有志の方々と構成された文化祭実行委員会で開催の可否や会場のレイアウトなどを協議し、展示作品・舞台への出演や、模擬店の出店募集をしました。例年出演してくださっていた演目が、今回は出演できなくなり、出演者探しもされていました。

幾度かの会議を開催し、文化祭の準備をしていきます。センター駐車場での開催は久しぶりででしたので、資料が少なく海蔵地区ホームページの過去の写真を探したり、会場レイアウトを決めるのに苦労されていました。

10月31日に最後の文化祭実行委員会が開催され、出演者・出品者・出展者・実行委員が集まり、最終的な会場の設営内容やタイムスケジュール、音響さんとの調整が行われました。

文化祭前日の会場設営では、展示パネルや椅子など運ぶものも多く、テントも8張り設置するのに、とても時間がかかると思いましたが、各町からたくさんの方が集まり素早く設営されていてびっくりしました。1日目は秋晴れ、2日目は雨でしたが、会場をセンター内に移動し出店内容も変更して臨機応変に対応していました。文化祭終了後の撤収作業は、雨が降る中みなさん協力して一斉に終えることができました。

文化祭終了後、事業企画委員会の方にお話を聞きました。「場所をセンター駐車場に移しての開催で来場者は減るのではないかと、どういった配置にすればよいかなど心配や考えることが多かったですが無事に終えることができました。舞台の演目や作品の展示は、まだまだ枠があります。自薦他薦問いません。様々な方の参加をお待ちしております。」とのことでした。興味のある方は海蔵地区団体事務局までお問い合わせください。

今回の取材を通し、みなさんに楽しんでもらえるように状況や天候など様々なことを考慮しながら、一人ひとりが常に最善を尽くして判断し、行動をしていることに、とても感動しました。



令和9年3月完了予定 進む三滝川分派・堀川内水対策事業

三滝川の増水時に河川水を海蔵川へ分派するための三滝新川と海蔵川の整備事業(県事業)は、令和4年度以降様々な工事が行われてきました。三滝新川では河道の床止め[堰]や大部分の低水護岸、導流堤1などの工事が、また海蔵川では新海蔵橋付近から下流の新開橋までの堆積土砂などの除去が完了しました。令和7年度は、三滝新川で三滝川流入部と海蔵川流出部の低水護岸、合わせて三滝川で導流堤2の工事が行われます。また、三滝川分派事業の完成に合わせた堀川の内水対策事業(市事業)として、令和6年度から堀川放水路整備工事[海蔵保育園南側]と堀川排水機場整備工事[海蔵川末広橋下流の阿倉川樋門に隣接]が進められています。なお、堀川放水路の海蔵川への流入口である西阿倉川樋門設置工事(県事業)は令和7年3月に完成しました。



三滝新川:三滝川から海蔵川方面



堀川放水路



堀川排水機場

令和7年7月 阿倉川駅・駅前整備事業完了

新しい阿倉川駅前広場が完成し、令和7年7月18日から使用が始まりました。駅に隣接した新駐輪場は令和7年1月に、駅のバリアフリー化（エレベーターや障がい者対応型トイレの設置など）は平成31年3月に完成し、平成27年度から海蔵地区都市計画マスタープラン・まちづくり構想推進委員会と協議しながら市が整備を進めてきた当事業は完了しました。



新しくなった駅前広場



整備前の駅前広場

おばちゃま探検隊

「39 (サンキュー) サロン」に行ってみた！

令和7年6月に、新しく「イベントサロン」として海蔵地区に仲間入りした「39 (サンキュー) サロン」。毎月、内容の変わるイベントということもあって、初めてでも気兼ねなく参加できましたよ！

おばちゃまA (以下A)：9月のウクレレの演奏、一緒に歌って楽しかったなあ。

おばちゃまB (以下B)：そうやなあ。演奏してくれた嶋名さんは、75歳からウクレレをはじめたって聞いて、ビックリしたわ！

おばちゃまC (以下C)：何事も、はじめるのに遅すぎることはないっていうし、私もウクレレをはじめてみようかな。

A：本当やね。海蔵地区の身近なところでハツラツと年齢を重ねている、人生の先輩に会えて、とっても参考になったわ！



C：そうやね。最近、何かと自分が一番年上になることが多いけど、このサロンやと、まだまだ自分は若いほうやから、未来に希望を感じたわ。

B：毎月1回でも、出かけるキッカケになるサロンが近所にできてよかったなあ。

A：人生百年時代。趣味や人との出会いを、これからも元気に楽しんでいきたいね！

海蔵地区内では、高齢者が集まることのできるサロンが、毎年度増えています！

くすの木サロン・野田みどりサロン・そば打ちサロン・グランドゴルフサロン・卓球同好会・いきいき百歳体操・サロンミモサ・39サロン…。ぜひ最寄りのサロンに参加してみたいかたがどうか？



海蔵地区
初開催

避難所運営ゲームHUG

参加した、みなさんの奮闘を報告します。

訓練前オリエンテーション

参加者・講師紹介 避難所運営ゲームHUGとは？

日 時：11月30日(日) 海蔵小学校新多目的室

講 師：みえ減災啓発支援ネット会員 8名

参加者：防災会役員

災害対策本部隊長・指定避難所班長総勢48名

HUGは「Hinanjio-Unei-Game」の頭文字をとったもの。避難所見取り図に、避難者の状況が書かれたカードを配置し、限られたスペースと多様な要望の中で、誰をどこに配置するのが最善か班メンバーで議論し決定する、カードゲーム形式の体験型訓練です。



いよいよ訓練開始!



開始早々に難題が...

避難所の区画割りで議論白熱 !

5～6名を1班とし、48名が9班に分かれていよいよ訓練開始! が、始めから難題!?

課題: 通路を記入し、区画割りを決めてください

訓練開始から各班の議論が白熱。地区別に区割りする班もあれば、おからだの状態や年齢で区割りする班もあり、4分割や6分割、通路が広い・狭いなど、各班ごとにそれぞれの意見が盛り込まれた特徴的な避難所になっていました。

訓練中の様子

みなさん、立ち上がり 休憩もなく議論は更に過熱!!

もう立っている人がほとんどで、みなさん上着も脱がれ、こっそり暖房が切られていることに誰も気が付かないほど、議論に集中されていました。

おからだが不自由な方・病気の方・ペットと一緒にの方・外国籍の方など、さまざまな避難者の整理と並行して、救援物資やボランティア受入、駐車場、仮設トイレの配置や水の確保など、避難所の設備も考えなくてはならず、最後まで白熱した議論は尽きませんでした。



各班発表と総評



気付きと感じた課題の共有 海蔵地区としてどう考えるか!?

各班から挙がった意見

避難所のレイアウトは事前にマニュアルで決めよう。
行政との連携をもっと密にしよう。
避難所で指揮が取れるリーダーを育成しよう。

総評

海蔵地区の人口は令和7年10月現在で13,140人。指定避難所の海蔵小学校と山手中学校と海蔵地区市民センター3ヶ所で、全員の受入は無理です。

この問題を海蔵地区としてどう考えるか!?

今回の訓練が考えるきっかけになれば幸いです。